

## 令和4年度 事業報告及びその附属明細書

### 概要

2020（令和2）年に感染拡大が経済全体に大きな影響をもたらした新型コロナウイルスは、令和4年度も終息に至らず当シルバー人材センターの事業活動にも影響をおよぼし、研修の中止やイベント活動の自粛などを余儀なくされました。

当シルバー人材センターでは、健康で働く意欲のある高齢者が、長年培ってきた知識・経験や技術を生かし、年齢に関わりなく活躍し続けることにより「生涯現役社会」を実現することがますます重要と認識しており、高齢者や基礎疾患が有る人は感染すると重症化しやすいとされる新型コロナウイルスの感染症対策を講じながら、事業の推進に取り組んでまいりました。

高齢者が働くことは、高齢者自身が支えられる側から支える側に回り、健康や生きがいにもつながるものと考えられるため、当シルバー人材センターでは組織の機能強化を図り、可能な限り事業の展開に努め、公共・民間企業・個人家庭を対象にした就業機会の拡大及び会員の獲得に取り組み、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなかでも新たに派遣や請負の契約を締結することができました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、各種活動に制限が有るなかでも、地域社会に貢献しようと、会員や役職員の努力はもとより、関係行政機関の指導・支援を受け事業推進に取り組んだことにより、地域社会の活性化に寄与し、高齢者の生きがいの場を提供するという基本方針に対する、一定の成果を得ることができました。

## 事業結果

### 【年度状況】

①	会員数	320名
②	請負就業の延べ人員	22,438人日
③	配分金契約金額	79,408千円
④	事務費金額	8,085千円
⑤	派遣就業延べ人員	11,846人日
⑥	派遣賃金	51,535千円
⑦	派遣手数料	12,734千円
⑧	就業率	80%

### 1 受託事業

---

地域の家庭、企業、公共団体等に対して、機会あるごとに就業機会の開拓を積極的に行い、「草刈り作業」「庭木の剪定作業」「公園などの清掃作業」「施設の清掃作業」などを発注者から請負契約により仕事を受託し、危険な就業を除き、これを就業希望の会員に提供しました。（年度状況の②、③参照）

### 2 独自事業

---

自由な時間に入退室が可能な作業場「ワークステーション」を活用できる内職の職種は、「部品の小袋詰め」と「カタログ色見本帳の作成」が加わり7業種となりました。より多くの会員に提供できるように努めました。

- ・職種7種類（タオルたたみ、ミシン縫製、組花等、食品箱詰、シール貼り、部品の小袋詰め、カタログ色見本帳の作成）

### 3 職業紹介事業

---

公益社団法人岐阜県シルバー人材センター連合会山県市事務所として、慢性的な人手不足により、直接雇用を希望する企業へ積極的に会員を紹介しました。

紹介事業所 3 件      紹介会員 5 名      紹介手数料 204,195 円

## 4 労働者派遣事業

---

公益社団法人岐阜県シルバー人材センター連合会山縣市事務所として、臨時のかつ短期的な就業及び人手不足分野での就業時間の要件緩和を活用して、一人でも多くの就業希望会員に就業機会の提供ができるように努めました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企業の業績回復が遅れており派遣就業日の減が発生しました。

(年度状況の⑤、⑥、⑦参照)

## 5 各種講習会の実施

---

岐阜県シルバー人材センター連合会主催の研修及び講習を積極的に受講していただきました。

派遣会員には、新型コロナウイルス感染症対策として全シ協のテキストを使用し、自宅学習による教育訓練（義務講習）を実施しました。

受講者数：73名

全会員を対象としたシルバー事業及び令和5年10月より予定されているインボイス制度の理解を深める研修は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた開催方法を検討しましたが、会員の健康が最優先と考え中止しました。

## 6 普及啓発

---

シルバー事業を広く宣伝することにより、就業等を通じて社会参加を希望する高齢者に対して、センターへの入会を促進する一方、地域社会の信頼と理解を得るために社会福祉協議会、商工会、民生委員・児童委員など公的機関・団体に適時情報を提供しました。

〈社会参加活動〉

山縣市ふるさと栗まつりに参加し、シルバー事業のPR活動を行いました。

〈年間を通じた普及啓発活動の実施〉

- ・山縣市広報紙に会員募集、仕事の紹介等の広告を毎月掲載しました。
- ・ホームページを活用したPR活動を行いました。

## 7 安全・適正就業の推進

---

事故ゼロを目標として安全対策の推進を強化してまいりましたが、8件の事故が発生しました。

通院事故8件（8名）（転倒等4件、切り傷等4件、延べ通院日数109日）

・自走式草刈り粉碎機・草払い機の安全取扱い研修会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止しました。

・熱中症対策として、長時間屋外での請負作業に従事する会員に空調服を貸与しました。（3着追加購入「延73着」・64名貸与）

## 8 調査研究

---

「山縣市元気生活応援事業」で特に軽易なものは「ワンコインサービス」として市役所福祉課と事業の積極的な運用を行いました。

ワンコインサービス事業は、

平成26年度	54件	平成27年度	109件	平成28年度	110件
平成29年度	169件	平成30年度	248件	令和元年度	333件
令和02年度	312件	令和03年度	327件	令和04年度	359件

訪問型サービスA事業では、山縣市北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターと連携し利用者サービスを行い、利用者の状況や困りごと等を市に報告しました。

令和元年度 5名（北部2名・南部3名）

令和02年度 4名（北部1名・南部3名）

令和03年度 4名（北部1名・南部3名）

令和04年度 4名（北部1名・南部3名）

## 9 就業分野の開拓・拡大

---

新型コロナウイルス感染症の影響で依頼数が減少するなか、地域の家庭・企業・公共団体等に対して、機会あるごとに就業機会の開拓を積極的に行い、発注者から請負契約、派遣契約問わず危険な就業を除き仕事を受託し、未就業会員を優先し、特定の会員に就業機会が偏らないように配慮し、就業希望の会員に提供できるように努めました。

## 10 相談、情報提供

---

入会を希望する高齢者や定年後を心配する一般市民を対象に、毎日随時シルバーセンター施設内で、新型コロナウイルス感染症対策を行い、入会相談会を実施しました。

企業などからの募集案内をホームページ、掲示板などで会員にお知らせしました。

## 11 社会参加活動の推進

---

ボランティア活動に積極的な会員へ、会員各々ができる範囲で行える社会参加活動の機会の提供は、高齢者や基礎疾患を持った者が感染すると重症化する新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員の健康が最優先との考えに基づき中止しました。

### 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。